

# 令和4年度 和歌山支部予算(案)について



## 支部医療費適正化等予算（案）

分野	区分	新規・継続等の区分	取組名	経費 (単位:千円)	事業概要
医療費適正化対策経費	企画部門関係	継続	健康イベント「みんなの健康フェア」における医療費適正化にかかるセミナー、ブースの出演	330	一般加入者向けに地元地方紙の健康イベント時に健康保険制度、医療費、適正な医療のかかり方、インセンティブ、GEなどに関するセミナーを実施する。
		新規	薬効別に分析したジェネリック使用率が低い薬剤使用者に対する促進啓発	275	和歌山支部のGE使用率を薬効別に分析し、使用率が低い薬剤使用者に対する使用動奨を実施する。
		継続	ジェネリック医薬品使用促進セミナーの開催	333	薬剤師会や和歌山県等の関係機関と連携し、加入者や医療関係者に向けジェネリック医薬品の啓発セミナーを実施し、ジェネリック医薬品使用率の向上を図る。
		新規	医療機関事務担当者向け健康保険事務説明会の開催	55	医療機関事務担当者向け説明会をオンラインにより開催するもの。オンライン資格確認システムの導入拡大による資格喪失後受診の抑止、高額療養費制度の説明や限度額適用認定申請書の医療機関窓口設置による使用促進等の要望を行う。
					993千円

分野	区分	新規・継続等の区分	取組名	経費 (単位:千円)	事業概要
広報・意見発信経費	紙媒体による広報 (定期的に全事業所、任意継続被保険者宛に送付するチラシ等印刷、及び業務用のリーフレットやポスター、冊子(しおり)の作成等)			2,654	→次ページ参照
	その他の広報	継続	地域情報紙とのコラボ広報(LIVING和歌山)	528	地域の情報紙(フリーペーパー)「LIVING和歌山」の健康情報コーナー等を活用し、協会けんぽイベント案内、ジェネリック使用促進、業務関係案内、インセンティブ制度、健診等の周知、情報提供を図る。
		継続	「わかやま健康と食のフェスタ」へのブース出演	22	和歌山県の主催する「わかやま健康と食のフェスタ」にブース出演を行う。標記イベントは、和歌山県が健康推進や食育に携わる団体等と連携し、健康に関する特色ある活動の紹介や自らの健康状態を把握できる体験の場を提供することで、県民健康意識の高揚を図ること及び健康寿命の延伸につなげることを目的に実施されるもの。
		継続	地域情報誌への広告掲載(まみたん)	400	和歌山市・岩出市・海南市・紀の川市の幼稚園・保育園(エリア内の80%をカバー)にて園児に直接配布される地域情報誌(子育て応援まみたん)の広告スペースに広報記事(4コマ漫画やアニメーション等の活用含む)を掲載し、園児の親世代に対して協会けんぽの様々な事業について広報を実施する。
		継続	県広報誌への広報	1,540	和歌山県の広報誌「県民の友」紙面内広告を活用し、健診及び保健事業案内、ジェネリック医薬品の使用促進及び保険料率改定の案内等、周知・情報提供を図る。
		継続	バス車両ラッピング広告による広報	528	和歌山市内を走るバスにラッピング広告を掲載し、「ジェネリック医薬品使用促進」の広報を行う。
		継続	バス車内広告	409	和歌山市内を走るバス車内に広告及びポスターを掲示し、「ジェネリック医薬品使用促進」や「健診受診促進」の広報を行う。
		継続	バス車内放送広告	396	JR和歌山駅の最寄りのバス停「新地」の到着時に路線バス内の車内放送で乗客に対し「ジェネリック医薬品使用促進」等の事業案内の音声放送を実施する。これにより、協会けんぽの各事業に対する取り組みを乗客にアピールし周知を図るもの。
		継続	郵便局内での広報用ポスターの掲示	143	県内の主要郵便局(和歌山中央郵便局)の広告スペースに、支部イベント等のポスターを掲示し、郵便局に来所する加入者に向けた広報活動を行う。
		継続	TV局のスポットCMの活用による広報	979	地元TV局のCM枠に、大規模イベントの参加に合わせ支部事業(インセンティブ等)について広報を行う。視聴率の望める有望な番組に、15秒CMを放映するもの。
		継続	ラジオ広報の実施(ジェネリック医薬品啓発、健診等)	370	インセンティブ、ジェネリック医薬品啓発、健診等の広報として、和歌山県内を網羅する地方ラジオ局のAMおよびFM放送にて、CM(約20秒)及びスタジオ生出演(10分×6回)を活用し、大規模イベントに合わせた支部事業広報、集団特定健診案内等イベントに合わせた広報を実施する。
		新規	電子看板(映像)による広報の実施	568	JR和歌山駅中にある「大型電子看板(デジタルサイネージ)」にて15秒の動画、静止画を放映し、大規模イベントに合わせた支部事業広報(インセンティブ等)や集団特定健診案内等イベントに合わせた広報を実施する。
		新規	広報コラムの作成業務委託	429	毎月本部で作成し、HPに掲載していた健康コラム(「知ったク! 医療保険情報」と「季節の健康情報」)が令和3年4月に終了したため、それに代わるコラムを作成し、広報の充実を図るもの。健康づくりに役立つ情報を配信し、ヘルスリテラシーの向上を目的とする。
			予算枠	9,963千円	
			計	9,959千円	

● 紙媒体による広報

(定期的に全事業所、任意継続被保険者宛に送付するチラシ等印刷、及び業務用のリーフレットやポスター、冊子(しおり)の作成等)

合計	2,653,200円
----	------------

事項 (詳細)	目的 (使途項目)	実施時期	仕様 (サイズ・紙質・色等)	配布対象者	期待される効果	経費(全体) <単位:円>
納入告知書同封チラシの作成	事業案内等	毎月	A4・両面カラー印刷・三つ折り 紙質上質70kg	事業主	事業主・事業所担当者への周知及び情報提供	1,415,700円
事業案内用カレンダーの作成	事業案内等	令和4年度中	180mm×140mm カラー	健康保険委員、健康宣言事業所	健康保険委員への情報提供	907,500円
インセンティブ制度チラシの作成	インセンティブ制度周知	随時	A4・両面カラー印刷・三つ折り 紙質上質70kg	事業主	インセンティブ制度周知による各種指標の向上	165,000円
保険証の適正使用啓発ポスターの作成及び医療機関への配布	保険証適正使用による返納金発生防止	令和4年6月	A1サイズ カラー	医療機関	保険証の適正使用	165,000円

## 支部保健事業予算(案)

分野	区分	取組名	経費 (単位:千円)	新規・継続 等の区分	事業概要
健診経費	事業者健診の結果データの取得	健診機関による委任状取得の委託費	22		
		データ作成費	424		事業主等によるデータ作成に要する費用
		事業者健診にかかる同意書取得勸奨及び健診結果データ取得勸奨等の外部委託	7,975	継続	事業者健診にかかる同意書取得勸奨及び健診結果データ取得勸奨を外部委託により全面实施することで、事業者健診実施率の向上を図る。
	集団健診	被扶養者向け 協会主催の集団健診実施にかかる経費	8,623	継続	協会主催の集団健診(被扶養者対象特定健診)を開催。骨密度検査などのオプション検査を実施。集団健診を開催するにあたり、対象者へ集団健診開催案内を送付する。
		健診推進経費	1,430		健診(生活習慣病予防健診、事業者健診、特定健診)実施率向上に向けた健診機関による取組みの推進
	健診受診勸奨等経費	和歌山県医師会との連携による特定健診受診促進に関する事業	50	継続	院内掲示用の特定健診広報用ポスターを作成のうえ、和歌山県医師会を通じて、配布。
		生活習慣病予防健診同時勸奨による新規受診者の獲得および出張健診の実施	1,209	継続	事業所及び対象者個人への同時勸奨による生活習慣病予防健診受診率向上の相乗効果を目的とする。
		任意継続及び新規適用加入者への生活習慣病予防健診及び特定健診の案内	881	継続	任意継続及び新規適用加入者へ生活習慣病予防健診及び特定健診の案内(一括分+随時分)により、健診制度の周知、受診者数の増加を図る。
		被扶養者向け がん同日実施の集団健診における広報(案内)	472	継続	自治体主催のがん検診会場にて、協会加入者の特定健診も同時に受診できる機会を設定。がん同日実施の集団健診に特化した広報並びに、未受診者への再勸奨を行い、特定健診受診率の向上を図る。
		被扶養者向け特定健診の案内(一斉発送)	1,187	継続	年度当初に県内に居所がある被扶養者に対し、令和3年度の特定健診案内を行い、特定健診受診を促すことで、受診率の向上を図る。
		生活習慣病予防健診の案内(一斉発送)	467	継続	年度当初に事業所に対し、令和3年度的生活習慣病予防健診の案内を行い受診を促すことで、受診率の向上を図る。
保健指導経費		中間評価時の血液検査費	1,980		特定保健指導参加者の効果測定を目的とした血液検査
		医師謝金	13		保健指導に関して医学的な意見・助言を受けるため。
		保健指導用パンフレット作成等経費	220		
		保健指導用事務用品費(測定器機器類等)	100		
		保健指導等図書購入費	50		
		公民館等における特定保健指導	40		保健指導会場借料費用
		保健師募集広告経費(支部)	50		
	保健指導推進経費	「特定保健指導終了件数」を報奨金の対象とする実施機関	132		
		新規契約機関又は前年度実績が60件以下の実施機関のうち、当年度実績が61件以上の実施機関	198		
保健指導利用勸奨	特定保健指導の利用勸奨	868	継続	特定保健指導に関する事業所および対象者への利用案内の実施。	

分野	区分	取組名	経費 (単位:千円)	新規・継続 等の区分	事業概要
重症化 予防事業 経費		未治療者受診勧奨	10	継続	高血圧・糖尿病の受診勧奨
		糖尿病性腎症重症化予防対策	4	/	和歌山県版糖尿病性腎症重症化予防対策プログラムにあわせて受診勧奨およびハイリスク者への保健指導を実施する。
		その他重症化予防対策②	880		健診機関と連携し、健診当日に血圧高値者へ高血圧予防啓発リーフレットを配布し、医師または看護師等より早期受診を促す。
コ ラ ボ へ ル ス 経 費	コ ラ ボ へ ル ス 事 業 経 費	健康宣言事業所サポート事業	2,969	継続	チャレンジ運動登録を契機に事業主が率先して会社の健康づくりに取り組み、取組結果をレポートする。さらに、必要な要件を満たした場合は、和歌山県の「わかやま健康推進事業所」の認定も受けることができる。
		健康経営促進セミナーの実施	446	新規	健康経営に関する講演等を実施し、健康経営を実践するよう啓発を行う。あわせて、健康経営の実施手法としての健康宣言事業への参加や、実践目標としての健康経営優良法人認定制度の紹介、申請の勧奨を行う。
そ の 他 の 経 費	そ の 他 の 保 健 事 業	歯科検診とのコラボによる特定保健指導の開催	388	継続	特定保健指導と合わせて、歯科検診を開催。年間3回程度 和歌山市内で開催する。歯科検診を同日に行うことで、特定保健指導の集客につなげたい。
		保健事業計画アドバイザー経費	91	/	

予算枠	31,180	千円
合計	31,179	千円